

	ページ	修正箇所	修正前	修正後	備考
第4章	24	投資目標の設定方針		図中の矢印を削除	図修正
	24	本文4行目	これらのみでは、給水原価が増加し持続的な経営が困難となります。	一方では給水原価の上昇につながります。	文言修正
	24	本文下から4行目	統廃合等についても同時に進め、給水原価の増加を抑えて～	統廃合や長寿命化等についても同時に進め、省エネ、耐久性などの効果が高い技術を積極的に取り入れ、給水原価の上昇を抑えて～	文言追加、修正
	24	脚注【重要給水施設】		2017年度末 29か所。	文言追加
	24	脚注【管路全体の更新率】		【管路全体の更新率】の説明を追加	文言追加
	25	本文4行目	このような状況の中、～試算しました。	そこで、本市では、更新事業を着実に進めるためには、～試算しました。	文言追加、修正
	25	「アセットマネジメント手法による長期的な更新需要試算の考え方」		説明を追加	文言追加
	26	図表4-2	工種	工事種別	文言修正
	26	図表4-2	土木	土木（配水池等）	文言追加
	26	図表4-2	（アセットマネジメント手法による更新）	更新基準の見直し	文言修正
	26	図表4-2		実使用年数の設定値一案の行を挿入	図表修正
	26	図表4-2、脚注		【実使用年数の設定値一案】の説明を追加	文言追加
	29	図表4-5 統廃合の効果		・将来の維持管理費も縮減 を追加	文言追加
	31	図表4-7		統廃合後位置図修正	図表修正
	32	図表4-8	花園分岐	奈佐原分岐	文言修正
	ページ	修正箇所	修正前	修正後	備考
	35	脚注		【鉛製給水管】の説明を追加	文言追加

	36	図表4-11	既設管路 総延長 約780km 更新対象管路 約 76km	既設管路 総延長 約780km（内基幹 管路約80km） 更新対象管路 約 76km（内基幹管路 約6Km）	文言追加
	38	市が担当している業 務・引き続き市が担 当する業務	漏水・濁水の料金 減免に関する業務	計画・予算に関す る業務	文言修正
	38	脚注		【本市の営業窓口 における包括委託 の考え方】を追加	文言追加
	39	財政目標の設定方針	将来に渡って～	必要な投資を行っ つつ将来に渡って～	文言追加
	45		(単位：千円, %)	(単位：千円, %・ 税抜)	文言追加
	47		(単位：千円, %)	(単位：千円, %・ 税込)	文言追加
	48	本文下から 5 行目	企業債の効果的な 活用や	削除	文言削除
	48	本文下から 2 行目	市民負担の抑制に 留意しながら料金 のあり方も～	市民負担の抑制に 留意しながら企業 債の効果的な活用 や世代間の公平性 を考えた上で料金 のあり方も～	文言追加
	48	脚注		【建設改良費】・ 【資金残高】の説 明を追加	文言追加